

# (福) 羽島郡福寿会

笠松町・福祉

平成30年度  
認定

笠松町と岐阜市、各務原市で特別養護老人ホーム等を運営。育児や介護中の職員は希望する事業所に配置するほか、遅番勤務を減らしたり希望休をシフトに反映させたりしている。職員間には“困ったときはお互い様”とする雰囲気根付いており、支え合いながら業務に励んでいる。

従業員数／男性56名 女性152名 計208名 ※平成31年1月現在

## 特別有給休暇拡充で働きやすく

育児や介護中であつたり職員自身が病気になった場合も安心して働き続けられるようさまざまな制度を整えている。10年前からは職員の子連れ出勤も認めている。当初は反対する職員もいたため、子どもを「ボランティア」として登録してもらおう仕組みを考案。宿題等をして過ごしてもらおう以外にもシ



現在は4家族6人の子どもがボランティア登録しており、施設内でシーツ交換や配膳の手伝いをするほか、施設内外のイベントでも力を発揮している。

ーツ交換や配膳を体験してもらったところ不満の声は上がらなくなったという。7年前からは会議への子連れ出勤も認め、現在は3家族が実際に同席し、会議への出席率アップにつながっている。リバーサイド笠松園で働く寺本理奈さんの中学3年の長男も登録しており、夏休み等に施設を訪れ利用者と触れ合ったり、施設内外のイベントも手伝ったりしている。寺本さんは、「働く姿を間近で見てきた息子から『お母さんの仕事はすごいと友達に自慢している。僕も医療・福祉関係に進みたい』と言われ励みになった」と目を細める。

健康で働き続けられる環境づくりのために、リフレッシュに充てる健康増進休暇(3日間)や骨髄移植休暇(必要な期間)、インフルエンザにかかったとき等に取得できる感染防止休暇(診断書に基づいた期



リバーサイド笠松園の介護職員寺本理奈さん。ボランティア登録している長男は、幼い頃から施設に来る機会が多く、医療・福祉関係の仕事に興味を示しているという。

間)などを特別有給休暇としている。健康診断は通常の健診バスでの受診だけでなく、勤務時間内に健診センターへ行き子宮頸がんや乳がん検診も併せて受けることも可能で、実際に早期発見につながったケースもある。病気になった後も、病気休暇や短時間勤務などを使い、安心して働き続けることができる。